

Alignment Tester 4輪アライメントテスタ

WA000103

1.製品の主な特長

■全12項目の測定が可能。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ① スラスト角 | ② 前・後輪キャンバー |
| ③ 前輪カスター | ④ 四輪トータルト |
| ⑤ 前・後輪個別ト | ⑥ 前・後輪S.A.I (キングピン角) |
| ⑦ インクルーデッドアングル | ⑧ セットバック |
| ⑨ オフセット | ⑩ 最大回転角 |
| ⑪ T.O.O.T (20度回転角差) | ⑫ ホイールベースの左右差 |

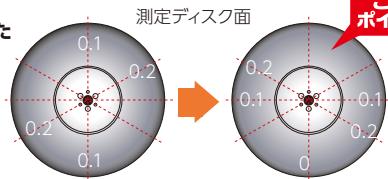
■当社独自のランナウト補正(PAT PEND)で誤診断がない。

ホイールアライメントサービスで最重要視する後輪のトー(スラストライン)に対して、的確に目視で判断することができる。

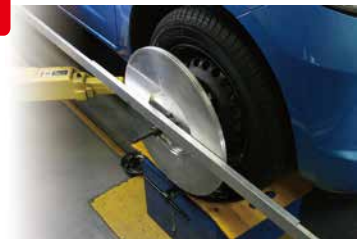


他のテスタではできなかった独自のランナウト補正でスラスト角「0」を実現!
ゼロ

ディスク取付プレートに測定ディスクを取付、ダイヤルゲージを用いて調整ボルトでランナウト補正を行います。



同じ振れ数を水平にすることにより、0.1mm以下の精度でスラスト角、トーを測定することができます。



■簡易式テスタのほとんどが、ホイールクランプ方式に対して、本製品はハブナット(ハブボルト)接続方式を採用。

ホイール精度のばらつきに関係なく的確に測定できる。20インチ以上のホイールでも測定可能。



【ホイールクランプ接続方式】

ホイールの振れ精度が、0.3mmであったとしてもスラスト角が発生します。
※ホイールの横振れ
標準値0~0.7mm
限度値2mm
ホイールの精度+クランプの精度
= スラスト角 → 大

【ハブナット(ハブボルト)接続方式】

▼英国チャーチル仕様



▼日平機器仕様



※測定機器(キングピンゲージ)につきましては、ご購入時に英国チャーチル仕様か日平機器仕様のどちらか選択となります。またすでにお持ちの場合には標準セットから削除する事が出来ます。

■場所を選ばず(注1)、ガレージジャッキがあれば測定可能。

(注1) 測定環境には、水平が求められます。水平面が出ていない工場でも、オプション部品にて水平環境を作り出すことができます。



一輪ずつ設置面の高さを測定する。



スロープ台
ワーキング台
スペーサー
オプション部品にて対応。

■パソコンと連携して、即、テストレポートが作成できます。

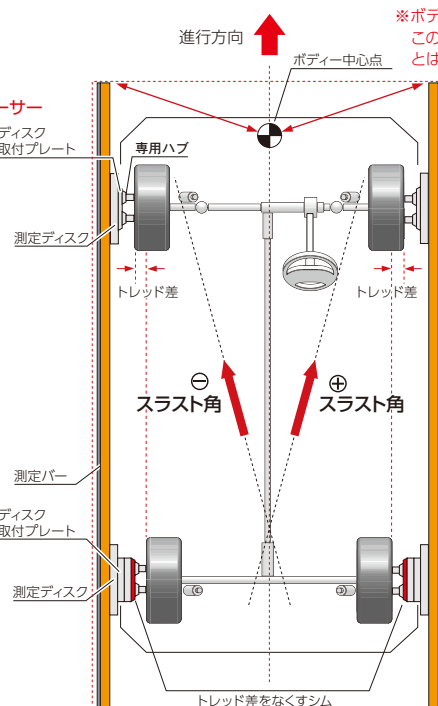
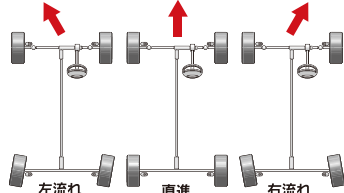


自動車諸元表検索フォーム画面



テストレポート作成フォーム画面

自動車をまっすぐ走らせるのは後輪の『トー』で決まります。



測定理論と測定イメージ図

※ボディ中心点は、あくまでも目安で出すだけです。このセンターの精度というのは、アライメント測定の精度とは別物です。

★後輪の測定ディスクに測定バーをセットし、測定バーの先端とボディ中心点(幾何学的中心点)の長さの左右差を比較するだけでスラスト角が判明できます。

★同じく前輪についても隙間を測定することによりトーを測定できます。またフレームの曲がりであるセットバックおよびオフセットも同時に測定することができます。

☆測定車の前後トッドを補正するシムによって、測定バーの形状は長方形(真上より見て)を保ち、絶えず長方形の枠の中で各ホイールの角度の状態を診断できる。最も理解しやすい測定方法です。